

20/2.11

# 神奈川県・丹沢 仏果山から経方岳

相模平野を一望する手頃なコース

文・写真 磯貝 猛

日帰り  
歩行時間約4時間45分  
交通費概算¥3,000円  
（小田原小田原駅新橋駅間）

丹沢山塊の東に位置する仏果山と経方岳は、関東ふれあいの道にも含まれており、気軽にハイキングコースとして人気がある。特に、別称半原富士ともいわれる仏果山は、七四七mの標高のわりには、山頂からは丹沢山塊への雄大な展望が得られる。

本厚木駅北口前か厚木バスセンターから半原行ききのバスに乗り、燃糸組合前で下車。民家の間を抜けて国道四二号線を渡り、小さな沢に沿った林道を行く。民家が途切れてしばらく行くと、宮方瀬ダム建設に伴う県道工事のため、以前まであった登山口よりさらに五〇ほど行った所に新しく付け替えられた、仏果山登山口がある。

階段を登って登山道に入り、樹林の中の急坂を登っていく。シカ除けの柵を二回くぐり、桧の植林帯を登っていくと林道に出る。林道を横切りコンクリートの階段を登って再び登山道に入る。傾斜が少し緩くなって高庄線の鉄塔を越え、小さな二つのピークを越えると仏果山の頂上だ。

樹林に囲まれた頂上には一三〇の展望台があり、三六〇度の展望が楽しめる。大山塔ノ岳、丹沢山など丹沢山塊の主な山々をはじめ、東には相模平野の広がりを見ることができ。

頂上をあとに半原越へ、関東ふれあいの道の標識に従っていく。下りはじめは急坂だがすぐに緩やかになり、樹林の中の稜線道を行くようになる。一部、稜線の右側が切れ落ちた所もあるので要注意だ。狭い稜線道を緩やかに下り、シカ除けの柵を二回くぐる。やがて標高六四〇mの八州峰の小広い園地に出る。ここからは南西の展望が開けており、遠く表尾根の山並みも見渡せる。ベンチもあるのでひと息入れるのによい所だ。

八州峰からは、はじめ階段がつけられた急坂が続くが、再び樹林の中の稜線を緩やかに下って行くと、ます土山峠へ、続いてリッチランドへの分岐がある。どちらとも最近になってつけられた道だ。入り込まないように注意する。やがて視界も開けて林道が見えてくると、シカ除けの柵を二回くぐって半原越に出



仏果山山頂では大展望が楽しめる



半原越からは林道を横切って経方岳方面へ向かう



登山道に入ると、うっそうとした樹林の中の登りとなる



仏果山山頂から、大山～表尾根の山並み

経ガ岳山頂から南方の大山方面を望む

# DATA

[コースタイム] 燃米組合前 (35分) 登山口 (1時間30分) 仏果山 (1時間10分) 半原越 (30分) 経ガ岳 (1時間) 半僧坊前

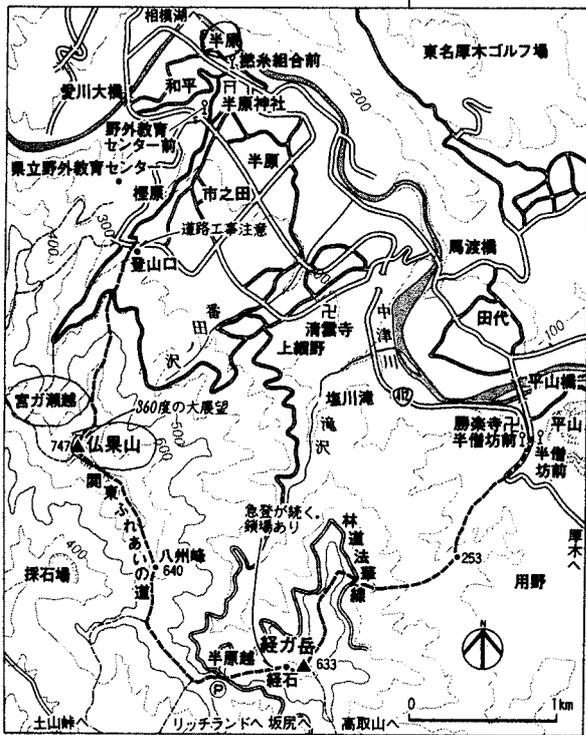
[交通] 入山) 小田急電鉄本厚木駅 (神奈川中央交通バス・厚木営業所 ☎0462・41・2626 / 55分) 燃米組合前 下山) 半僧坊前 (神奈川中央交通バス / 40分) 本厚木駅 \*登山口に一審近い野外教育センター前バス停へは現在直通バスはない。半原か原臼から無料バスが随時運行している。

[マイカー] マイカーの場合は半原、半僧坊のどちらにも駐車場がないので、半原越の峠からピークを往復するとよいだろう。東名高速道路の厚木ICより国道129号線経由、国道246号線に出て栗野方面に向かう。伊勢原の交差点を右に折れ、伊勢原津久井線を北に。尾崎の信号を過ぎると半原越への入口が右にある。峠には駐車できるスペースがある。

[問合せ先] 愛川町役場 ☎0462・85・2111

[2万5000分 / 1地形図] 上溝

[アドバイス] 紅葉が見られるようになる10月中旬頃から山も涼しくなって歩きやすい。落葉したあとともよいだろう。



経ガ岳への急坂に付けられている鎖場



山名の由来となった経石。山頂までもうすぐだ



ベンチの置かれた経ガ岳山頂

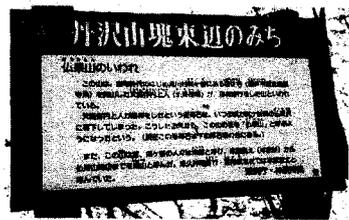


登山道から林道に出れば、国道までわずかだ

## アスワン

環境庁が整備を進めている首都圏自然歩道「関東ふれあいの道」は、首都圏に残る豊かな自然や風土にふれることを第一の目的としている。高尾山を起終点として全長1667kmにわたり、144コースに細分され、それぞれの土地にちなんだ名称がつけられている。

今回のコースの大部分は、そのふれあいの道をたどっている。半原～仏果山～半原越が「丹沢山塊東辺のみち」、半原越～経ガ岳～勝楽寺は「北条・武田合戦場のみち」の一部となっている。



仏果山山頂に立つ関東ふれあいの道の看板

る。ここには愛川町と清川村をつなぐ林道法華線が通っている。林道を横切って階段を登り、経ガ岳へ向かう。頂上までけっこうきつい登りが続く。途中、サレた所には長い鎖が付けられている。経ガ岳の名の由来になった経石を過ぎれば、ひと登りで頂上だ。二等三角点のある経ガ岳山頂からは、南側だけが開けており展望はよくないが、静かな雰囲気の良い所だ。山頂をあとに田代に下山する。尾根通しにゆつくりと下っていくとシカ除けの金網が現れる。金網に沿ってしばらく行き、ベンチの

ある所で金網の扉をくぐる。植林の中を下って再び金網を抜けてしばらく行くと、半原越から通じている林道法華線に出る。この林道を右に五〇ほど行き、道標のある所から再び登山道に入る。山腹から沢を行くようになってしばらくすると林道に出る。左に下っていくと、すぐに国道四二二号線に出るので左折する。続いて信号のある二股となるが、どちら側にも半僧坊前バス停がある。別経由で本厚木駅行きバスが出ているが、本数は右の旧道側からの方が多い。事前に時刻表を確認しておくともよいだろう。